

<ご参考>

こどものためのミュージカル・プレイ

## 第48回「ニッセイ名作劇場」

“こころの劇場”劇団四季ミュージカル

# 『ユタと不思議な仲間たち』

ここは東北地方の湯の花村。父を亡くした水島勇太は、東京から母の実家のあるこの村に引っ越してきました。

村の子どもたちは「モヤシっ子のユタ」と呼んでちょっかいを出しますが、人見知りのユタはどう接すれば良いのかわかりません。

ある日、村の子どもたちがユタをいじめていると不思議なことが起こります。気がついたらいじめっ子の手からするっと逃げ出せたり、何もしていないのにいじめっ子たちが痛い目にあってしまうのです。

どうやらそれは東北地方で語り継がれている子どもの精霊「座敷わらし」の仕業らしいのです。座敷わらしに会ってみたくなったユタは、言い伝え通り満月の晩に、大黒柱のある旧家の離れに一人で泊まる決心をしました。

自分をふるい立たせて一人で寝ていると、部屋のあちこちから不思議な姿をした座敷わらしたちが出てきました。座敷わらしたちは「生きているだけで素晴らしいんだ」ということをユタに伝えようとします。

座敷わらしという素敵な仲間たちに見守られ、ユタの心と体はだんだん強くなっていきます。いよいよユタが村の子どもたちと本気で向き合う時がきました。

ユタは村の子どもたちと仲良くなることができるのでしょうか？不思議な仲間たちはずっとユタのそばにいてくれるのでしょうか？

企画・演出	:	浅利 慶太
作曲	:	三木 たかし
振付	:	加藤 敬二
照明	:	沢田 祐二
装置	:	土屋 茂昭
音楽監修	:	渋谷 森久
編曲	:	宮川 彬良
台本	:	梶賀 千鶴子